

第63回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

- 1 開催日 2023年 9月28日 13:00～ 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ
- 2 参加人数 ・男性7名・女性1名・投句1名 計 9名
- 3 今回の季語 九月(長月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)
- 4 選句の結果 *写真をみて一句! を試行してみる。



甘南備山 中秋の月

- 窓を開け待ちて恋しき秋の風
- じゃじゃ孫も世に揉れしや 栗になり
- 窓下の落蟬空に返しけり
- 西日さす狭間輝く竹の春
- *風の舞ふ芒が原は波模様
- *すすき穂のゆれて銀海曾爾高原
- 夏の暮れ古寺にコスプレ京の街
- 皺の手の実のる稲穂の刈り探る
- 「付近です」カーナビ告げてより残暑
- 実りの秋子猫迷い込み早や天下
- 散歩道残暑如り立ち止まる
- 茅葺の麓純白蕎麦の花
- 亡き夫の声なき夢や秋彼岸
- 色くすむ使い慣れたる秋簾
- 低く飛ぶパット邪魔する秋茜
- 鐘楼へ長き石段秋暑し
- 秋旅の道に迷いて人恋し
- 数合は葉の残り敬老日
- 処暑過ぎて鱗は何処峰の雲
- 敬老日家族満腹妻料理
- *一輪挿すススキと共に愛でる月
- *枯れ芒風に逆らい我似たり
- *ざわざわとさわぐススキ野下山道
- *総立ちの芒の穂波輝けり

*写真で一句!

5 講評・添削 披講: 東さん

1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ

- 彼岸入り行き合いの空時季停まる
※夏と秋とゆきかう空の模様
- 処暑過ぎて鱗は何処峰の雲
24節の一つ 積乱雲(入道雲)
- すすき穂のゆれて銀海曾爾高原
太陽の光でキラキラと輝く芒の穂を表現
- 芒の穂銀から金へ移る時間
夕日の光に輝く時の色表現
日光の光に輝く時の色表現
- * 比喻上手!
じゃじゃ孫も世に揉れしや栗になり



選外句

- ・蟬消えて朝露揺らす虫の声
- ・秋天のちぎれ子雲や消えゆきて
- ・秋の宵一行のみの濃日誌
- ・彼岸入り行き合いの空時季停まる
- ・テニスして昼寝勝ち夢爽やかに
- ・園庭に太鼓が響く秋の空
- ・秋雨や妻CT検査晴れ間見ず
- ・昼の膳に適う庭苑薄紅葉
- ・温もりも届く赤飯敬老日
- * 歩を止めし風波騒ぐ芒野に
- * 供すすき猫じゃらしかな仏泣く
- * 芒の穂銀から金へ移る時間

2) 季語無・当該季外れ?!・季語重なり! + 季語色々!

- ・蟬消えて朝露揺らす虫の声
秋の季語
夏の季語
- ※季節毎に現れる昆虫の固有名詞
については、その季節の季語となる。

6 次回(#64)開催日 2023年 10月26日 13:00～(15:00) 第4木曜日

兼題: 十月(神無月)の季語全般

写真で一句 : 菊/菊人形

歳時記を参考に!

大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!

注2) "五七五"の17音(文字)を満足すること!